

提案者：(株) ATGREEN



パラオ共和国コロール州の脱炭素都市形成と コ・ベネフィット実現に向けた都市間連携事業

この事業では、北九州市とコロール州間の継続した都市間連携関係を軸に、リゾートホテルや公共機関から出る剪定枝や未利用資源を燃料活用するバイオマス・RPF熱供給モデルに関する調査を進めています。調査では、利用可能資源量や、熱需要・供給、燃料収集モデル、熱需要を活用した産業振興などのコ・ベネフィットの可能性を検討しています。

併せて、コロール州公共施設への再生可能エネルギーや省エネルギー設備や交通分野でのEV導入可能性について調査を進めるとともに、コロール州の脱炭素化に向けた具体的な取り組み案を提示しています。

